

1. 単元名 「高時の名所・名物を知ろう」

2. 単元の目標

- ・高時(古橋・石道)の歴史的な文化財や特産物について知ることができる。(知識・技能)
- ・己高山の観音信仰における様々な観音像や仏像について、地域の人々から聞いたことや書物などから調べたことをまとめる。また、まとめたものから地域の人々の思いや願い知り、さらに自分たちにできることを考え、たくさんの人に発信することができる。(思考力・判断力・表現力)
- ・「高時の名所・名物」の学習を通して、様々な仏像を中心とした文化財やお茶や薬草入浴剤等の特産物に関心を持ち、進んで地域の人々に話を聞いたり、歴史について書物等で調べたりすることができる。  
(主体的に取り組む態度)
- ・たくさんの人に調べたことを中心に、地域の人や自分たちの思いや願いが伝わるような発信の仕方を工夫することができる。(主体的に取り組む態度)

3. 単元について

(1) 教材観

高時学区にある己高山は、むかし、近江に国の鬼門にあたり、比叡山の寺と関係が深く、古くからたくさんの僧侶の修業の場として山岳信仰が栄え、観音信仰を基調とする独自の「己高山仏教文化圏」が作られたが、戦国動乱期の影響を大きく、寺院の多くは衰退して無住・廃寺化し、そこに残された尊像たちは、村の守り本尊として民衆に迎えられ、今もなお観音信仰は地域の人々によって、誇りと親しみをもって手厚く守られている。

高時の名物として「お茶」がある。西暦805年に僧・最澄が唐より持ち帰った薬の木である茶の種を己高山の鶏足寺に蒔いたのが始まりと言われている。戦国時代には、長浜城主となった豊臣秀吉が鷹狩で古橋の法華寺に立ち寄った際、石田三成がお茶を献上した「三椀の才」として認められ、飛騨吉野家臣になったと言われている。そんな歴史のあるお茶の木が己高山の奥地や別院付近などで自生している。現在、亀山茶畑として整備され「こだかみ茶」として復活された。また、薬草入浴剤においても「己高庵」との結びつきが深く、今では全国の人々に愛されるまでになっている。

このように、学区内には歴史的な文化財や特産物が地域の人々の手によって、脈々と今につながっている。そんな歴史的な文化財や素晴らしい景観、特産物などについて紅葉祭りや茶摘み、みかんの皮あつめなどを通して、児童たちも地域の活動にかかわっている。このかかわりを総合的な時間の中で、自分たち地域の文化財や特産物を調べたり考えたりする活動を通して、自分たちの住む地域に誇りや愛着を深め、今後も自分たちにできることを考え、将来、大切に引き継いでいこうとする気持ちを養っていきたい。

(2) 児童観

3年生の学習内容については、昨年度の3年生から「己高山仏教文化」「観音信仰」の一端や、紅葉の名所、「こだかみ茶」の歴史や茶にまつわる伝説、そして薬草入浴剤の始まりや原料などについての学習の成果を見せてもらっている。また1学期の社会科の地域学習で、自慢できる「自然・物・場所」として高時を学習しているし、児童の身近に学習内容と深くかかわる人々が多数おられることもあって、児童一人一人の学習に対する関心度は高く、意欲的に取り組むことができると考える。

### (3) 指導観

はじめに、「高時の名所・名物」の学習は、もみじ祭りで見学客の人に「高時」のよさを知ってもらおう学習であることを確認した。社会科の地域学習や昨年の3年生の学習の足跡を合わせて、自分たちは、どこを何を伝えるのかを考えさせた。すると己高閣や世代閣、石道寺の観音像や仏像。鶏足寺に続く道（もみじのじゅうたん、宿坊跡）を選んだ。また地域あげて取り組まれている「こだかみ茶」を通しての亀山茶畑。自然の野草や地元で栽培しているハーブを使った薬草入浴剤について調べることにした。

次に、地域の方を講師に現地研修を行い、実際に見て触れて、体験して、それらにまつわる歴史や人々の願いや、地元の人々の守ろうとする思いに気づかせたい。またそれらに関わっておられる方々は、自分の身近な人ばかりであることにも気づかせ、地元の人々の間で引き継がれてきたことを実感させたい。また、いつでも自分たちの学習に協力して下さる人たちであることを知るよい機会と捉えられる。

まとめの段階では、国語科の学習「つたえよう、楽しい学校生活」「しりょうから分かる小学生のこと」から、発表メモのつくり方や要点のまとめ方、相手に伝わる話し方や資料の提示の仕方など学習したことを生かして、自分が伝えたい事を相手にわかってもらえるよう、友だちと協力し合いながら活動を進めていきたい。今回は路上ライブという方法をとったので、与志漏神社の境内（己高閣や世代閣グループ）、亀山茶畑前（お茶・薬草入浴剤・鶏足寺グループ）、石道のお御堂前（石道寺グループ）に分かれ、各自が調べたことを伝えさせたい。この発表は、紅葉狩りに楽しみに来られた方の時間をとってするものであるから、各グループ10分程度という時間制限を設け、相手と自分の関係を捉えさせることで、自分は何が伝えたいのか、どうまとめれば、足をとめて聞いてくださった方に喜んでもらえるかを考えるであろう。そのことが伝えたい事の質やまとめ方の工夫を高めると考えた。また、現地でのリハーサルも自信をもってできる一つとなつたし、聞き手の反応を感じ取って、改善をしようとする気持ちが高めることになると思う。

理科の学習でハウセンカとマリーゴールドを育てた。たくさんの種がとれたこともあり、もみじ祭りで見学客に聞いてくださった方に種のプレゼントをしようということになり、メッセージを添えて送ることにした。学習とはいえ、心を込めてお世話をしてきたものだけに、きっと喜んでくださるのではないかと児童の気持ちの表れをとることができる。このように、地域の文化財や特産物を通して、地域の人々とのつながり、観光客とのふれあいから、わがふるさと「高時」に対する誇りや愛着を深め、自分にできることに意欲的に取り組めるようにしたい。

### (4) ESD との関連

#### ○学習を通して主に養いたい ESD の視点

【多様性】：高時（古橋・石道）の文化財やお茶には、霊峰「己高山」の時代を超えて、今に伝わる意義や理由があることに気づくことができる。

【責任性】：観音像や仏像、特産物を調べることで、地域の文化財や特産物、それらを守り伝えようとする人々に誇りと愛着をもち、自分にできることを考え、少しでもその活動を進めたり、たくさんの方に発信しようとするすることができる。

#### ○学習を通して主に育てたい ESD の資質・能力

- ・地域の文化財や特産物を調べるにあたって、地域の方の案内や説明を受けたり、様々な地域の体験活動に参加したりして、自分が知りたい事や疑問に思うことなどを聞き、たくさんの人に伝わるような工夫を凝らして発信することができる。「コミュニケーション力」
- ・地域の方に教えてもらったこと、自分が調べたこと、これからの自分たちのあり方などをうまく伝えるためのまとめ方、話し方、資料の選択・見せ方などを友だちと話し合うことができる。「協調的問題解決力」

## 4. 評価基準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
<p>① 地域には古くから伝わる文化財や特産物があり、地域の人々によって守られていることや作り出されていることに気づく。</p> <p>② こだかみ茶については、茶摘み体験や薬草入浴剤については、みかんの皮を集めたり、袋詰めを手伝ったりして、作業の大変さや長い時間をかけて作り上げていく過程を知り、意欲的に調べようとしている。</p>	<p>① 聞いたことや調べたことをもとに地域の人々との関係性や願いなどについて、自分の考えをもつことができる。</p> <p>② 「伝える」ためのまとめ方や話し方、資料の選択や見せ方など、聞き手を意識した工夫を考えている。</p>	<p>① 自分が調べ伝えたいものに関心を持ち、自主的に現地に赴き、話を聞いたり体験をしたりして、意欲的に課題と向き合おうとしている。</p> <p>② 調べたことやまとめたことを友だちと意見交換をしたりし考えを深め、よりよいものにしようとしている。</p> <p>③ 聞き手に、地域の宝物について、その宝物を通して人々の思いや願いを発信しようとしている。</p>

#### 5. 単元展開の概要（全 25 時間）

主な学習活動	学習への支援	◇評価・備考
<p>1. 高時の名所・名物について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1 学期の社会科「町のようすを知る」で行ったところを想起する。</li> <li>・己高山、オトチの岩窟、与志漏神社 己高閣・世代閣、薬草入浴剤、こだかみ茶、石道寺、金毘羅神社、佐波刀神社、高時川など</li> </ul>	<p>○社会科「町の様子調べ」で作成した絵地図を見て思い出させる。</p>	<p>◇今までの学習や普段の生活の中から考えている。</p>
<p>2. 「紅葉祭り」で、観光客に伝えたいものを決める。</p>	<p>○昨年度の 3 年生の発表資料や親子活動「ふるさとウォークラリー」の写真を参考にさせる。</p>	<p>◇選びきれなかった名所や名物については、3 学期の「高時の名人」の学習の中でふれる。</p> <p>◇自分の「伝えたい」を意識して決めている。</p>
<p>3. 現地研修をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・己高閣・世代閣、石道寺では、実際の観音像などを見ながら、世話役の方から、己高山の観音信仰における様々な観音像や仏像についての話を聞く。</li> <li>・亀山茶畑、鶏足寺参道の宿坊や紅葉のじゅうたんなどにかかわる話を聞く。</li> <li>・薬草入浴剤についての話を聞いたり</li> </ul>	<p>○どの名所・文化財における共通点（地域の人々の思いや願い、大切に思いずっと守り続けている点など）を見つけさせる。</p> <p>○いろいろな話を聞いて、大事なところをメモさせる。</p> <p>○見学に行く前に、薬草入浴剤の原料になっている薬草について本などで</p>	<p>◇それぞれの観音像や仏像の特徴やそれらに込められた思いや願いを知ることができたか。</p> <p>◇地域の人々が守り続けていることを知ることができたか。</p> <p>◇自分が知りたい事や疑問に思うことを質問して、理解し</p>

<p>袋詰めの体験をする。また疑問に思ったことを質問する。</p> <p>4.教えてもらったこと、調べて分かったことなどを出し合い、感じたことを話し合いながら、発表の準備をする。</p> <p>・理科で育てた「ホウセンカとマリーゴールドの種」のプレゼントとして贈る準備もする。</p> <p>6. それぞれの場所で発表する。 ・与志漏神社の境内、亀山茶畑、石道寺の三か所(路上ライブ)</p> <p>7. 校内発表をする。 ・朝会における学年発表として ・2年生への発信</p> <p>8. 薬草入浴剤の原料「みかんの皮集め」について話し合う。 ・給食時の放送を使って ・ポスターの掲示</p> <p>9. 「高時の名人・名物」学習の振り返りをする。</p>	<p>調べたり、実際に薬草を探したりした上で見学に行く。</p> <p>○国語科の学習で学んだ作文の書き方や話し方、資料の選び方などを生かすように指導する。</p> <p>○算数科「表とグラフ」「重さ」の学習を生かすような指導をする。</p> <p>○学校行事「茶摘み」「己高登山」「ふるさとウォークラリー」などの活動を生かすようにする。</p> <p>○友だち同士で、聞き手と話し手になり、うまく伝わっているかを考えさせる。</p> <p>○保護者にも発表の様子を見てもらい、アドバイスをもらう。</p> <p>○発表の様子をタブレットで確認しながら改善点を見つけ改善していく。</p> <p>○実際に現地で発表の練習をし、発表の場所の確認や観光客の様子から手直しの部分をかんがえさせる。</p> <p>○事前にリハーサルをすることで、自信をもってやれるという気持ちを持つことができる。</p> <p>○メッセージカードとともに贈る準備を進める。</p> <p>○自分のめあてを意識させ、自信をもって発表できるようにする。</p> <p>○保護者の協力</p> <p>○「みかんの皮」の集め方(種類、集める部位など)について熊井さんに話を聞いておく。</p> <p>○グループごとに考えさせる。</p>	<p>ようとしている。</p> <p>◇聞き手を意識した発表になるように工夫している。</p> <p>◇「伝える」を意識して、よりよい方法を考えている。</p> <p>◇聞き手を意識して話しているか。</p> <p>◇必要事項を落とさずに知らせることができたか。</p>
---	--	---

